

今年も開催、家族みんなで来てね!

西宮人形劇まつり

市と西宮人形劇グループ連絡会は、6月17日(土)・25日(日)に市内各所で「西宮人形劇まつり」を開催します。プログラムなど詳しくは、文化振興課(市役所本庁舎5階)、各支所などで配布するチラシをご覧ください。市のホームページ(楽しむ・学ぶ→文化・芸術→催し・講座・展示)からもダウンロード可。

問 文化振興課
(0798・35・3425)



6月17日(土)

午前10時から西宮神社で オープニングセレモニー

西宮くぐつ座による「人形芝居えびす舞」の披露、せっぽく座による公演を行います。入場無料。

午後2時から市内8カ所で 人形劇や紙芝居

午後2時から市内8カ所で人形劇と紙芝居を上演します=下表参照。入場無料。当日先着順(受付は午後1時45分から)。



会場	定員	会場	定員
塩瀬公民館	230人	段上公民館	130人
上ヶ原公民館	120人	夙川小学校	100人
若竹公民館	200人	学文公民館	100人
西宮浜公民館	130人	西宮市大谷記念美術館(*)	80人

(*)申込は6月15日までに文化振興課へ。要入館料

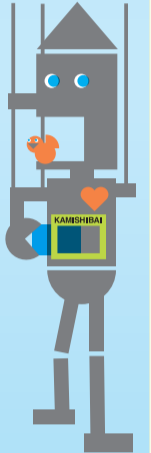
6月25日(日)

アクタ西宮東館に 人形劇団が大集合

午前10時半~午後4時にアクタ西宮で、プロ・アマチュア劇団が人形劇を上演=下表参照。また、東館6階でかざぐるま作りのワークショップ(参加費等100円、材料が無くなり次第終了)、東館5階では「おはなし会」なども実施します。

アクタ西宮東館2階	
プロ・アマチュア	午前10時半、11時半、午後1時、3時半から
大学交流センター(アクタ西宮東館6階)	
プロ	①午前11時半、午後2時、4時から②午前11時40分、午後1時から ①入場料300円(小学校入学前は無料)。定員各145人 ②対象は2歳以下の子と保護者。入場料300円(2歳以下は無料)。定員各25組
アマチュア	午前11時、午後0時15分、1時半、2時45分から 定員各50人
北口ギャラリー(アクタ西宮東館6階)	
アマチュア	午前11時15分、午後0時30分、1時45分から 定員各30人

*費用の記載のないものは無料。定員のあるものは当日先着順(受付は無料のものは開演10分前、有料のものは午前10時から)



★★★人形劇子ども講座★★★

【日時】8月1日(火)~3日(木)、8日(火)~10日(木)の午前10時から。6回シリーズ
【会場】大学交流センター 【対象】おおむね小学3年~6年
【参加費等】1000円 【定員】15人
【申込】7月3日から文化振興課(0798・35・3425)。先着順

人形劇定期公演

【日時】7月~来年3月の第3土曜 午後2時から
【会場】大学交流センター
【入場料】100円(小学校入学前は無料)

西宮は人形操り発祥の地

西宮神社の北側には、室町時代から「傀儡子(くぐつし)」と呼ばれる人形遣いが住んでいました。彼らの操り人形が淡路に伝わって人形浄瑠璃に、さらに大阪の文楽に発展したことから、西宮は「人形操り発祥の地」と言われています。

みやカフェで西宮トークしませんか!

学生やママ友同士也大歓迎 参加費無料

市は、平成31年度からのまちづくりの指針となる「第5次西宮市総合計画」の策定に取り組んでいます。

計画の策定に向けては、皆さんからの意見をいただく広聴会や座談会を開催していますが、今回はよりリラックスした雰囲気でおしゃべりする「みやカフェ」を開催します。

「みやカフェ」では、少人数のテーブルでお茶などを楽しみながら、また、できるだけ多くの人と話ができるよう席替えをしながら、「西宮のココが好き」「もっとこんなまちになってほしい…」など普段感じていることをおしゃべりしてもらいます。

気軽に参加して、「西宮トーク」を楽しみませんか。

【日時】7月30日(日)午前10時~
【会場】西宮市役所東館8階
【対象】15歳以上(中学生を除く)。在学・在勤者可
【定員】約100人。要申込。多数の場合抽選
【託児】対象は生後6カ月~小学校入学前の子。定員10人程度。要申込。多数の場合抽選



…参加希望の人は…

▷市のホームページ(市政情報→総合計画と部門別計画→第5次西宮市総合計画の策定)から
▷ハガキに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、託児の有無を書き、政策推進課(〒662-0854 六湛寺町10-3)へ ※持参も可

6月30日(必着)まで



ここからも申込可



参加者に缶バッジをプレゼント

問 政策推進課(0798・35・3666)

地域で活躍する 皆さんを紹介 No.9

環境を切り口に地域をつくる エココミュニティ会議

緑のカーテンやコンポスト作りなど エコ活動に取り組んでいます

●●● 藤原 和子さんに聞きました ●●●

平成20年の平木エココミュニティ会議の発足時からのメンバーで同会代表。青少年愛護協議会のメンバーとしても活躍。

《活動により意識が定着》

エココミュニティ会議とは、地域のさまざまな人たちが集まり、環境を切り口として地域づくりについて話し合い、活動する場です。

私が活動する「平木エココミュニティ会議」では、地域の平木小・中学校と協力して、エコ活動に取り組んでいます。春には緑のカーテンを作り、夏には収穫されたゴーヤを使っ

た省エネクッキングを行っており、クッキングのメニューは毎年違うものを考えています。秋には、夏休みに子供たちが取り組んだエコ活動を表彰し、冬には小学校内の落ち葉を利用したコンポスト(堆肥)作りを行っています。このような年間を通じた活動により、子供たちの環境に対する意識は「当たり前」のものとして定着していると感じています。

《エコ活動で持続可能な地域づくりを》

エコ活動は、資源に限りがあることを意識し、活動を持続していくことが大事です。平木地域で育った子供たちには、学校に通う間だけでなく、大人になってからも平木エココミュニティ会議で

学んだことを持ち続けてほしいと思います。今後は、子供が中心となっているエコ活動の輪を地域の大人たちにも広げ、楽しく、長く続けられる活動にしていきたいです。



落ち葉を利用したコンポスト作り

問 環境学習都市推進課(0798・35・3397)